

タットン会 通信

2006. 1. 28

今年度のタットン会は、独立行政法人福祉医療機構（障害者スポーツ支援基金）からの助成金交付も受けながら活動しています。より多くの方々と共に障がいに対する理解を深めていきたいと思っています。

◎タットン会ホームページ <http://www.geocities.jp/tattonkai/>

タットン会と入力しても、検索できると思います。試してみてください。

◎日時・場所についての確認のみ → ボランティアセンター 046 (825) 0017

新春、おめでとうございます。今年も皆さんでこのタットン会を盛り上げていきましょう！そして、しよがいに対する理解・仲間がもつともつ増えていくことを願っています。

昨年12月17日の41回目タットン会は、第4回タットン大会を福祉大学で行ないました。湘南学院ソフトボール部の皆様をはじめ多くのボランティアさんにも恵まれ、今年度最も多くの参加者で楽しむことが出来ました。

また、用具がなかなか届かず（渋滞のため？）その間に湘南学院のソフト部の皆さんによるウォーミングアップを行なったり、簡単な数集まりゲームを行なったりいつもと違う形で始まりました。

大会の結果は～

卓球の部（往復で1回 過去最高回数は2005年3月大会の石垣・松橋ペアの**851**回です）

第1位 石垣・竹内ペア 69回 第二位 西山・播岡ペア 67回 第三位 小山・松原ペア 45回

バドミントンの部（片道で1回 過去最高回数は2004年3月大会の石垣・浜島・齊藤ペア方の**148**回です）

第1位 石垣・竹内ペア 98回 第二位 外谷・浜島ペア 75回 第三位 柞木・芳賀ペア 63回

と、最高新記録は出なかったものの、継続して参加されている方は細かいところでの柔軟な対応も出来るようになってきています。また、後半は試合形式にも挑戦する仲間が増えてきたことはうれしいことです！

大会後のダブルス戦



感想アレコレ～

- ※1 今日は人数も多く活気がありました。中・高生が増え、活動が活発になると場所も狭く感じられます。しかし、コートなども譲り合いながらプレーできることに感心致します。待つことが出来るようになることもうれしいです。(W・Y母)
- ※2 ようやく参加できました！！他の会や用と重なることが多く本当に久しぶりです。ますます会が盛んになっていて嬉しいですね。支えて下さっている方々に、ただただ感謝です～(H・S母)
- ※3 どうやってやれば楽しんでくれるか？最初は戸惑っていたけど、卓球・バドミントンを一緒にやるうちに自分も楽しくなれました～。(T・Aさん)
- ※4 若いボランティアさんが多かったせいか、同年代の友達のような感覚でみんなが楽しんでいるように見えました。教える側と教わる側という関係ではなく、同等の関わりがステキだなと思いました。中・高生ボランティアさんの関わりがすごく良いのだと思います。(H・Tさん)
- ※5 本当に久しぶり～会報を読んで、タットン会ってあたたかいなあと感じ、目がうるうる。お世話になってばかりなので、何かしなくてはと思いつつ月日が過ぎてしまいます～。(T・S母)

お子様カードより

- ※6 前半卓球にチャレンジ、4人で交替しながらボールにさわって、初めての人とも笑顔で関わりました。後半は風船バドミントン、ラケットが不足し～二人とも手で行ないました～。
- ※7 ～子供同士で続かなかとも楽しくラリーをしている姿は印象に残りました。
- ※8 最高で30回続きました。しかし、大会では10回も続きませんでした～(笑)。

※9 耳を押さえて(大きな音等が苦手)、まるでこっちを見ていないような感じの時もありますが、「いくよう!」と言って打ってしまえば、きちんと返してくれるようです。

しょうがい児者の

進路と余暇を考える

パート 4

「仕事にチャレンジ」 障害のある方々の社会参加を支援する～

12月3日福祉会館において、「就労支援者の為の合同相談会～仕事にチャレンジ」が開催されました。この取り組みは障害がある人のために、幼児から一貫した相談支援体制を確立するため教育委員会の相談支援チームが主催する活動の一つです。浅羽も委員の中に加えて頂いております。

今年度は「障害者雇用の現状と展望」というテーマで、特例子会社3社・障害者雇用部会・障害者職業センターの代表の方々をシンポジストにお招きし就労に必要な事などを語って頂きました。今回は、97年平成町に出来た『ケーブ』さん(床ずれ予防のエアマット製造・販売)に対して参加者の関心が集中していました。

学校卒業後の将来を念頭において、現時点で学校や家庭で取り組んでおくと良い事についての示唆が多くありました。特に印象に残ったお言葉について紹介します。

～就労までに培いたい力などについて～

- ① 明るい・やさしい・素直が第一。仕事の技能は、就労してから企業が考えられる。
- ② IQの高い低いではない。手帳で言うと、B2よりB1の方のほうが仕事をこなせる場合もある。
- ③ 日常生活の自立が就労の条件。身の回りのことや通勤が一人でできることなど。
- ④ やる気と体力が就労には欠かせない。中には、通勤に片道90分かかる人もいます。
- ⑤ 挨拶や返事も人とのコミュニケーションの上で大事。指示に対して明るく『ハイ』と応じられること、意味不明な場合に『分かりません』と伝えられることも大事。
- ⑥ 何の為に仕事をするのか、仕事の意義などについて意識つけておきたい。

事務局 浅羽

第42回タットン会 ～本日 1月28日の流れ 於 県立保健福祉大学

9:00～ 準備・受付

9:30 本日の説明 ペアになって、カード読み・聞き取り 自己紹介・握手をしよう!
体操(ディズニーorラジオ体操)、各種目へ(持続回数に挑戦など)

10:20 休憩

10:40～ 後半競技～(試合形式)

11:10頃 パラシュート!

11:20頃 片づけ・モップ、
集合隊形に
(手話コーナー)・けがの確認

11:40頃 解散です!



※ 一緒に楽しんで下さる事務局 ボランティアさんは、いつでも募集中です!

※ 助成金から運動が苦手な子のために、ムーブメント教育「大型ユランコ」を購入させて頂きました。

《 4年目 2005年度の活動予定 》

2006年

1月28日(第四土曜) 県立保健福祉大学決定(42回目) 本日

一夜は今年度反省、来年度に向けての検討をします。参加は自由。

申込みは事務局メンバー又は、ホームページにて。参加費は未定。

2月18日(第三土曜) 県立保健福祉大学決定(43回目)

3月25日(第四土曜) 県立保健福祉大学決定(44回目)

さて、2006年度は??? 構えず、自然体で行きましょう!!!

タットン かず